

# 八幡は松花堂弁当発祥の地です

松花堂昭乗が愛した四つ切箱がヒント  
茶の湯の心が宿る小さな懐石料理

「松花堂弁当」の名は、日本中で知らない人はいないといえるほどですが、八幡での出会いから生まれたことをご存じでしょうか？

松花堂弁当を考案したのは、料亭「吉兆」の創始者である湯木貞一氏（1901-97／文化功労者）。湯木氏が草庵「松花堂」を訪れた時、部屋の隅に積み上げられた四つ切箱を見て、「料理の器に使えないか」と思っていたことが始まりでした。



松花堂昭乗自画像写 (部分 / 松花堂美術館蔵)

舌で味わっても、目で味わってもおいしい、機能と美しさを併せ持つ器です。

湯木氏はこうして誕生した弁当に、昭乗への敬意を払って「松花堂弁当」と名付け、日本料理を代表する弁当スタイルとして、全国に広まりました。

平成の世になり、松花堂庭園の一面に新しく松花堂美術館ができることとなった際、嵐山に本店をもつ京都吉兆による「京都吉兆 松花堂店」が開業しました。発祥の地で味わう松花堂弁当は格別の味となるはずですよ。

本家本元の松花堂弁当を京都吉兆でぜひ！

京都吉兆 松花堂店  
松花堂弁当「雅」  
……………¥8,300 (予約制)  
八幡市八幡女郎43-1  
☎075-971-3311  
営業時間：11時～15時(13時L.O.)  
※料理によって異なる  
17時～21時30分(19時L.O.)  
※完全予約制  
定休日：月曜(祝日の場合は翌日)



その四つ切箱は、松花堂昭乗の遺愛の品として伝えられた箱をモデルに量産されたものでした。昭乗は農家の種入れ箱をヒントに四つ切の美しい塗箱を作り、煙草盆や絵具箱として使っていたと伝えられています。十字に仕切りがあるこの器は、食材同士の味や香りが移らず、



松花堂好み四つ切塗箱 (松花堂美術館蔵)  
松花堂弁当の原型といわれる春鹿塗の四つ切塗箱、内側には春夏秋冬の花鳥が描かれている

ご注文でスマホ用紙製VRゴーグルをプレゼント！

デジタルスタンプラリー期間中、八幡の各店からオリジナル松花堂弁当が登場します！ ※写真はすべてイメージです



やわた走井餅老舗  
松花堂アフタヌーンティー  
……………¥2,500  
※12月下旬～1月中旬は販売休止  
八幡市八幡高坊19  
石清水八幡宮一ノ鳥居前  
☎0120-76-0154  
営業時間：9時～17時30分(17時L.O.)  
定休日：月曜(祝日の場合は翌日)



石翠亭  
男山松花堂弁当…¥2,500  
※2日前までに要予約。  
1/1～2/3は販売休止  
八幡市八幡高坊30  
石清水八幡宮境内  
☎075-982-3757  
営業時間：平日：11時～16時  
土・日・祝日：10時～16時  
定休日：不定休



和CHILL朝日屋  
朝日屋の松花堂…¥3,300 (持ち帰り¥3,240)  
※要予約。年末から1月中旬まで販売休止  
八幡市欽明台中央20-14-1F  
☎075-963-6656  
営業時間：11時～15時、17時～22時(21時30分L.O.)  
定休日：木曜、第1・3水曜



はなが(JA農産物直売所)  
松花堂弁当…¥1,100  
※土・日曜のみ。1日10食限定  
八幡市上津屋里垣内56-1  
やわた流れ橋交流プラザ内  
☎075-983-8181  
営業時間：9時30分～16時  
定休日：無休



八幡家  
オリジナル松花堂弁当¥800  
※数量限定。ピュフェ形式で提供  
八幡市上津屋里垣内56-1  
やわた流れ橋交流プラザ 四季彩館内  
☎075-983-7789  
営業時間：11時～15時  
定休日：月曜(祝日の場合は翌日)  
毎月の最終火曜日

📷 イートイン 📺 テイクアウト

スタンプラリー参加は  
こちらから！  
11月20日から公開



## デジタルスタンプラリー

2021年11月20日(土)～2022年2月13日(日)

特典1

アカウントを作成し、アンケートに答えると…  
松花堂庭園・美術館オリジナル抹茶セット(3,000円相当)を抽選で10名様にプレゼント！



特典2

デジタルスタンプを8個以上集めると…  
八幡市オリジナルのスマホ用紙製VRゴーグルをプレゼント！  
※先着400名様



八幡の魅力が詰まった  
観光動画をバーチャル  
体験できる！

期間中、  
オリジナル松花堂弁当  
も登場！



## デジタルスタンプラリー

2021年11月20日(土)～2022年2月13日(日)



スマホで  
簡単エントリー

# 京都・やわた 時空さんぽ

空中茶室「閑雲軒」と松花堂をテーマにした時空×観光の実証事業

今と昔を行ったり来たり



# 京都・やわた時空さんぽへの2つのキーワード

京都・やわた  
時空さんぽ

石清水八幡宮の門前町として発展した八幡。  
約280年前の絵図で、昔の様子を想像しながらまち歩きを楽しみましょう。



**1** すぎやまたにふどうそん  
杉山谷不動尊  
八幡市八幡西高坊24  
☎075-981-2109  
境内自由  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約8分



**2** さくらであい館  
八幡市八幡在応寺地先  
☎075-633-5120  
9時～17時 ※展覧場は16時30分まで  
12月29日～1月3日休館  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約10分

“時空さんぽ”がもっと楽しくなる  
デジタルスタンプラリーはこちら  
スマホで地図を表示して歩こう！  
※ウェブサイトは11月20日に公開します



八幡の観光名所は  
こちらのパンフレットにも  
掲載しています



1つめのキーワードは「松花堂昭乗」。「松花堂弁当」の名前の由来になったお坊さんです。昭乗さんのゆかりの地をめぐり、そのセンスに触れてみましょう。

## Keyword 1 / 松花堂昭乗

— デジタルスタンプラリースポット —

① ② ③ ④ ⑤

約400年前に生きた昭乗さんは、10代で石清水八幡宮の社僧となって修行し、44歳で男山の山腹にあった瀧本坊の住職となりました。書に優れ、「寛永の三筆」の一人として有名ですが、絵や茶道にも優れたセンスを発揮し、親友で城造りの名手・小堀遠州とともに、懸け造りの茶室「閑雲軒」をつくりました。隠居後は、近くの泉坊に移り住み、庵を建て「松花堂」と呼びました。二畳半という小さな空間に無駄をそぎ落とした生活のすべてが詰まっている庵です。明治の神仏分離で坊はなくなりましたが、松花堂と泉坊書院が松花堂庭園に移築されています（※現在修理中で見学できません）。同庭園の茶室・松隠には閑雲軒を復元した小間があります。石清水社の近くにある瀧本坊と泉坊の跡地は近年発掘調査され、泉坊跡では出土した中露地を露出展示しています。泰勝寺には昭乗さんのお墓があります。正法寺には徳川家康の側室として昭乗さんと同じ時代を生きたお龜の方が寄進した本堂が残されています。

### 3 松花堂庭園・美術館



八幡市八幡女郎花43-1  
☎075-981-0010  
9時～17時 ※最終入館・入館は16時30分まで  
月曜、12月27日～1月4日休園・休館  
庭園：100円  
美術館：400円～※展覧会によって異なる  
京阪電車石清水八幡宮駅から京阪バス大芝・松花堂前下車すぐ



**1** いわしみずはちまんぐう  
石清水八幡宮  
八幡市八幡高坊30  
☎075-981-3001  
9時～16時（12/31～1/19は変動あり）  
境内自由  
京阪電車石清水八幡宮駅から石清水八幡宮参道ケーブル八幡宮山上駅下車 徒歩約5分



**3** さるとひこじんじや  
猿田彦神社  
八幡市橋本東原27  
☎075-983-2399  
京阪電車橋本駅下車 徒歩約15分



**2** いちのとりい  
一ノ鳥居  
八幡市八幡高坊30  
☎075-981-3001  
境内自由  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約5分



**5** はっかくどう  
八角堂  
八幡市八幡大芝33  
☎075-972-2580  
（八幡市教育委員会文化財保護課）  
内部は通常非公開  
京阪電車石清水八幡宮駅から京阪バス大芝・松花堂前下車 徒歩約3分



**4** ひこうじんじや  
飛行神社  
八幡市八幡土井44  
☎075-982-2329  
9時～16時30分 / 境内自由  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約5分



**5** たいしょうじ  
泰勝寺  
八幡市八幡平谷18  
☎075-981-0056  
拝観は正月三日のみ  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約10分



**4** しょうぼうじ  
正法寺  
八幡市八幡清水井73  
☎075-981-0012  
10時30分～15時 / 700円  
京阪電車石清水八幡宮駅から京阪バス 走上り下車徒歩約3分



**6** ぜんぽうりつじ  
善法律寺  
八幡市八幡馬場88-1  
☎075-981-0157  
境内自由（本堂内部は要予約 / 500円）  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約15分



**7** かすがじんじや  
春日神社  
八幡市八幡西島1  
境内自由  
京阪電車石清水八幡宮駅下車 徒歩約20分



**8** ながればし（こうづやばし）  
流れ橋（上津屋橋）  
八幡市上津屋宮前川端  
☎0774-62-1731（京都府山城北土事務所）  
京阪電車石清水八幡宮駅から京阪バス上津屋流れ橋下車 徒歩約5分

伊勢神宮に次ぐ「第二の宗廟」といわれた重要な歴史スポット、石清水八幡宮がどうしてここにできたのでしょうか。三川合流の地にあるさくらであい館からその謎がわかります。京都盆地のあらゆる川は、男山と天王山の間から流れ出るため、交通や物資が集まる重要な拠点だったのです。神應寺の奥の院、杉山谷不動尊や、かつての金振郷総社だった春日神社は昔の姿を今に伝えますが、このまちの時空さんぽは、明治の神仏分離がその謎を解くカギとなっています。善法律寺には八幡宮から遷された仏像や社殿建築が残されており、石清水八幡宮本社近くにあった八角堂は西車塚古墳の上に移されました。飛行神社は大正になって日本航空界の父である二宮忠八がつくったユニークな神社です。八幡宮の旧境内町の外にも、八幡神遷座を助けた伝承をもつ猿田彦神社、長い木橋の懐かしい風景を堪能できる「流れ橋」など、時空めぐりの旅を楽しんでください。

「八幡山上下惣絵図」  
（山上部分 / 国立公文書館内閣文庫蔵）  
●八幡市民図書館で拡大絵図がご覧いただけます